SC経営士会【THE CIRCLE】第31号

第31号　2024年1月発行

SC経営士会　業務・広報グループ
一社）日本ショッピングセンター協会　SC経営士会事務局

SC経営士会 年次ゼネラルミーティング 開催のご案内

SCビジネスフェア2024の開催初日に、SC経営士会の年次ゼネラルミーティングをランチ交流会形式で開催致します。
SC経営士が一堂に会する貴重な機会となりますので、是非皆様お誘い合わせの上ご参加いただき交流を深めていただけますと幸いです。

■開催概要
日時　：2023年1月24日(水) 10:30～12:30
会場　：パシフィコ横浜会議センター5F
プログラム：　①SC経営士会 会長・副会長ご紹介
②2023年度活動報告・2024年度活動計画
③32期SC経営士ご紹介
④ランチ交流会
参加費　：2,000円（税込）※昼食費用込み　※新経営士（参加費無料）分の負担を含む。

■参加申込方法
以下の応募フォームよりお申し込み下さい。
https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=PejVf0GSjE-d0LHI7xU85cJca8SNiURMmy6vIT6TZRdURDZXRVM2M1U4SUJEUVU3RDBQN0c2STdXQS4u
申込期限：2024年1月12日(金)
※お申込み後、1月15日（月）に申込者向けに受領メールを送付いたします。
お申込みをいただいたにも関わらず受領メールが到着しない場合は、お手数ですが16日以降事務局までご連絡ください。

■参加費のお支払いについて
申込受付後、順次ご登録いただきました住所宛に「請求書」をお送りさせていただきます。
当日の現金徴収及び領収証の発行対応は致しかねますのでご了承ください。
2024年1月18日(木)以降は100%のキャンセル料が発生致しますので、申込後都合がつかずキャンセルされる場合は2024年1月17日(水)中にSC経営士会事務局までご連絡ください。

SCビジネスフェア　主催者ブース・企画セミナーご紹介

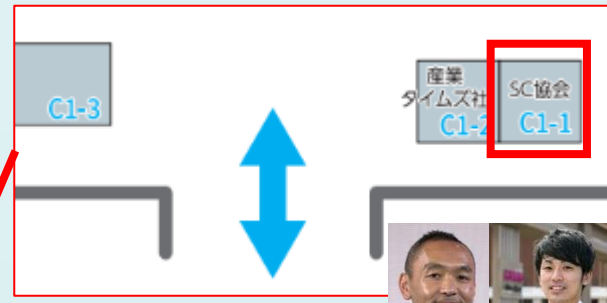
SC BUSINESS FAIR 2024

出会い、発見、チャンス、そして未来へ。

2024.01.24(wed)-26(fri)

パシフィコ横浜　展示ホールC・D(無料)
アネックスホール(有料)

日本ショッピングセンター協会
SC経営士会ブース



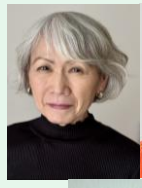
ブースにSC経営士が常駐しています！
ぜひお気軽にお立ち寄りください。
※写真は例／経営士は時間帯別シフトとなります

1/24(水)16:00～17:30

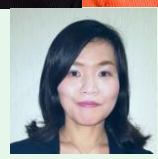
主催者企画①
SC経営士会（16:00～17:30）

『SCの未来を語ろう』
SC×SDGs・ダイバーシティ
～地球市民として生きるSCを目指して～

【パネリスト】
札幌駅総合開発(株)
取締役
松井　歩



(株)ルミネ
事業推進部
大出　友美



復興庁
政策調査官
嶋根　美佐

【コーディネーター】
(株)トリニティーズ
代表取締役
中山　亮

【主催者企画・無料セミナー】SCの未来を語ろう

展示ホール　A会場　　■入場は事前予約制です
※当日も空きがあれば入場可能

もはや定番６年目！
本年はSDGsやダイバーシティを取り上げながら、地域や社会と共に生きる必要性の高いSCの今後を協議します。

「地球市民として生きるSCを目指して」をサブテーマとして、施設開発・人材活用・地域活性（復興）など注目の切り口から多様性社会への対応など、未来を見据えた様々な取組をご紹介していきます。

【北海道ブロック活動報告】

「2023年度 SC道場」（北海道ブロック主催）

SC経営士会北海道ブロックでは、これからの北海道のSC業界を担うべき人材の育成を目的に、SCの業務経験が10年以下の若手中堅社員等を対象としたセミナー「SC道場」を毎年開催しております。今回で6年目となる2023年度は、これまで受講生から頂いた意見を反映し、第一回：10月19日、第二回：11月2日、第三回：11月16日、第四回：11月30日、第五回：12月7日と、前年度から二回増やして開催しました。

「SC道場」は、講師による一方的な講義スタイルではなく、受講生への事前アンケートに基づく講師との対話形式や各チームのディスカッション形式により、日々のSC運営における課題解決や知識の習得、また、受講生同士のコミュニケーション構築を目指す取組みです。今年度は北海道ブロック以外のSC経営士にも登壇頂き、WEBリモート講義（第一回）やSC協会創立50周年記念セミナー受講（第四回）等、今までにない新たなプログラムを取り入れることでこれまで以上にパワーアップした内容となりました。

今回も最終回「2030年、北海道に新しいSCを創るとしたら」を課題テーマとしたグループワーキングにおいて、前年度に引き続き鈴木克典教授（北星学園大学経済学部）から各受講生に対し、現状の課題を踏まえた未来志向的なSCの発想にエールが送られた他、その後の懇親会においても受講生、SC経営士間の親睦が大いに深まる等、今までになく非常に有意義なセミナーとなりました。

個人的に二回目となる「SC道場」の運営でしたが、このような機会を通じ、SC経営士会北海道ブロックが掲げる「未来のSC人材の育成」に携わらせて頂いていることは非常に光栄なことであると改めて実感した次第です。

なお今回、WEBリモートセミナー（第一回）及びリアル参加（第四回、第五回）に多大なるご協力を頂きました三菱地所プロパティマネジメント㈱菊田さん、仙台ターミナルビル㈱佐藤さんにおかれましては、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

北海道ブロック／札幌駅総合開発株式会社　吉原 徹平（第29期）

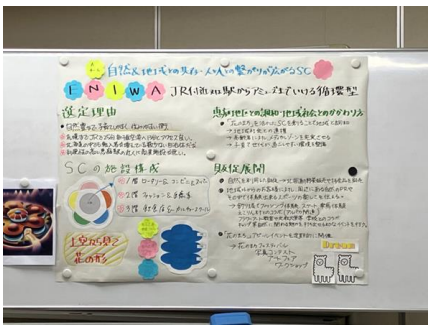
第一回目（10月19日）

第二回目（11月2日）

第三回目（11月16日）

第四回目（11月30日）

第五回目（12月7日）



第五回目（12月7日）

懇親会（12月7日）

冠講座 開催レポート

山路 直（ヤマジ タダシ）

京王電鉄株式会社 開発事業本部 SC営業部 支配人（京王聖蹟桜ヶ丘SC・京王高幡SC・京王八王子SC）

●多摩大学 冠講座について
「SCのリーシングについて」というテーマで講演をさせて頂きました。
京王聖蹟桜ヶ丘SCでは、松本先生や松本ゼミの学生さんと一緒に地域活性イベントの企画や運営を行っており、日頃の距離感が近いからこそ、逆に緊張しました。当社グループ理念から紐解いていくと、私の部署には『商業施設というリソースを活用して長期的に沿線価値を高めていく』というミッションが課せられており、館の中だけでは無く、エリア・街全体の中でどのような役割を担うかという点が重要であることを再認識しました。桜ヶ丘SCのビジョンとして掲げている『街のコミュニティステージ』を目指し、リニューアル（リーシング）は勿論、イベントや日頃の運営を通じて、引き続き『わたしの●●SC』…●●には【大好きな・大切な思い出がある・活躍の場である・生活に刺激を与えてくれる…】など、様々な言葉があてはまるような、『じぶんごと』として捉えてもらえるSCづくりに励んで参りたいと思います。
この度は、貴重な経験をさせて頂き有難うございました。
産学連携参考URL) https://t-collabo.com/event/seiseki/

講義に先立ち松本先生（左）からご紹介頂きました

多摩大学（松本ゼミ）と一緒に企画運営したイベント

加賀 正輝

(株)小田急SCディベロップメント 新宿南口営業室 新宿ミロード 副支配人

●多摩大学 冠講座について
今回は「事例研究」として、弊社小田急沿線施設である新宿ミロードと相模大野ステーションスクエアのテナントミックスが、どのようなマーケティング戦略と競争戦略を考慮して構築してきたのかをお話いたしました。
学生相手ということもあり、特に意識したことは①平易な言葉と表現で伝えること、②「難しそうだけど楽しそう！」と思ってもらうこと、の2点です。
資料作成の過程では、①の平易な言葉と表現の模索を通じて、自然とテナントミックスの「本質」に向き合うきっかけにもなり、私自身の成長にも繋がりました。また、SC事業は何よりも従事する我々自身が楽しみ、熱狂しなくてはならないという信念の下、極力「楽しそう」と思ってもらえるように努めました。私自身、コスパやレビューの奴隷にならずに、自分の感受性は自ら育んで伸ばしていけるように日々意識しており、学生の方々にも各テナントが提供する「付加価値」に着眼し、それを応援するマインドを持つよう鼓舞させていただきました。

冠講座については、お恥ずかしながら今回のご依頼を受けてから初めて知りましたが、大変すばらしい取り組みがあるものだと感嘆した次第です。SCは地域のインフラであると同時に、あらゆる知の集合体にもなり得る器であると考えています。大学との共同研究や、地域企業のフィージビリティスタディの場、あるいは行政と連携して地域経済のシンクタンクとして、などのようにSCはあらゆる「つながり」を生み出す源泉でありたいものと改めて考えるきっかけとなりました。引き続き、本講座の永続的なご発展に期待するとともに、微力ながら貢献させていただければと思います。

※写真は多摩大学のHPから引用させていただいた画像となります

新SC経営士に聞く **杉井 信介（スギイ シンスケ） さん**

株式会社アトレ 運営推進部 企画グループ

●受験の動機と感想

入社10年を超え、自社だけでなく業界全体の動向や流れなど知識を深めることと視野を広げたいと思い、SC経営士の試験を受けることにいたしました。

●今後の抱負

SC経営士として、まずはいろいろな方々とのネットワークが出来ればと思います。そして、社内への還元だけでなく、業界全体が盛り上がっていくよう微力ながら努めて参りたいと思います。

●プロフィール

1987年 千葉県生まれ。
2012年 ㈱アトレ入社（新卒）、アトレ松戸店営業部にて賃料計算、テナント担当、催事・イベント担当等に従事。
2016年7月 ジェイアール東日本商業開発㈱へ出向。自主編集売場での勤務、本部営業開発部にて、免税カウンター導入等を担当。
2018年7月 アトレ復帰。アトレ川崎店にて、改装エリアを担当、マーケティング業務、リーシング担当。
2021年7月より現職。

●写真

右 上 社内広報用に撮っていただきました。
下段左 当社物件のプレイアトレ土浦にて開催した「土浦レイクサイドバイクロア3」の運営応援に行った際、霞が関にて撮影した日の出の様子。
下段中 夏休みでリゾナーレトマムの雲海テラスに行った際の写真。残念ながら雲海は見れず。
下段右 今年（1月1日）に生まれた娘を連れて飛行機を見に行った時の写真。初めての飛行機に娘もご満悦でした。

新SC経営士に聞く **中川 奈々（ナカガワ ナナ） さん**

株式会社東急モールズデベロップメント 沿線運営グループ 沿線運営部 武蔵小杉東急スクエア

●受験の動機と感想

前年度にSCアカデミーを受講しており、上司からの勧めもあって、受験にチャレンジしました！
勉強していくうちに、せっかくSC業界にいるのであれば、もっと精通したい！と強く思うようになりました。
試験範囲も広く、勉強には苦戦しましたが、ギリギリでなんとか合格することができました。

●今後の抱負

日頃、自らコミュニティを広げていく機会を設けられていなかったので、これをきっかけにネットワークを広げ、たくさんの方々との交流を通し、自身をアップデートしていきたいと考えています！

●プロフィール

1991年 神奈川県川崎市生まれ。
2014年 ㈱東急モールズデベロップメント入社。
青葉台東急スクエアに配属。営業・管理を担当。
2018年 武蔵小杉東急スクエアに配属。販売促進・営業・地域連携を担当し、現在に至る。

●写真

右 上 地域連携策の一つとして、月1回ですが、かわさきFMのパーソナリティーアシスタントをしています！
下段左 武蔵小杉東急スクエアでは、「この街 大スキ 武蔵小杉」（略して「街スキ」）という冠を掲げ、地域連携策を実施しています！
下段中 クラフトビールにハマって、出かけるときはクラフトビールが飲めるところを探すまでがセットです！好きなスタイルは、Hazyです！
下段右 餃子が大スキです！厚皮よりも、薄皮派です！

この街 大スキ 武蔵小杉

【今、見ておくべきSC】＜特別編＞

塩釜水産物仲卸市場（宮城県塩竈市・協同組合運営）

■施設概要　宮城県塩竈市新浜町１丁目２０－７４
　　東北最大・魚の仲卸市場
■公式HP　https://www.nakaoroshi.or.jp/

この連載では、SCマニアを自称する編集部の面々が「いま注目、本当の良いSCを知りたい」というご要望に応え、“わざわざ時間を作って見に行く価値のあるSC”をご紹介します。

SC BUSINESS FAIR 2024

年末年始も多数の全国放送メディア登場で大注目！

SCBF2024主催者セミナー・パネリスト復興庁嶋根様担当の東北最大級魚市場

注目ポイント①【東北最大級の市場・世界有数の漁場】

SCビジネスフェア・2024/1/24（水）16：00～でも語られます。世界三大漁場「三陸・金華山沖」を擁する、東北最大級の魚市場。宮城県内外の地元利用・観光利用に加え、近年は日本三景の松島とセットで訪問する外国人旅行客も増加中。ひがしものと呼ばれるマグロは漁獲高日本有数で、世界中から注目されている市場です。

威風堂々・17か所の入口を誇る大市場

注目ポイント②【復興庁支援で課題も市場も可視化！】

市場をけん引するのが今野リーダー率いるブリッジプロジェクト。かつて350店舗を誇った市場も多くが後継者や世代問題を抱える中、若手や地元と次々と新しい取組を始めています。
2020年から復興庁×トリニティーズのサポートで新しく生まれ変わっている真っ最中で新コピー『ぴちぴち、ワクワク。』も制定。

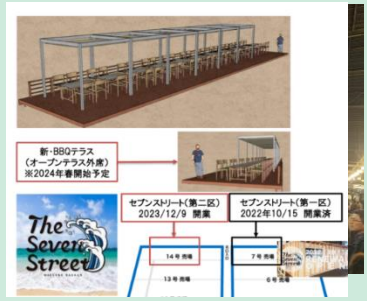
昭和レトロの風情に外国人客も多い

日本語版

英語版

注目ポイント③【世界にマイ海鮮丼発信】

2023年度復興庁ハンズオン支援では、場内へのサイネージ設置からデジタル案内を増加。名物の『マイ海鮮丼』を国内外お客様へ配信し、SNSでも地元インフルエンサーの協力で地域に**海鮮丼の市場**をPR中です！



注目ポイント④【新ゾーン・テラス増設】

2023年1月・12月と合計10店舗が新規で開業しました！魚を買うだけでなく、見る食べる楽しむことができる「魚のテーマパーク」として他にない価値を提供し続け春には新たにBQ大型テラスが開業します。

ご担当者インタビュー：今野　元博（こんの　もとひろ）　氏

古さと新しさ、両方を兼ねた唯一無二の市場を世界へ発信し、且つこれまで以上に地元の皆様にも愛され続ける市場でありたい。それらを実現するためのスタートとして絶好のチャンスと捉え、新たなテナント様やテラスを開設をする「種まき」を始めます。Shiogama Fish Park／塩釜水産物仲卸市場に、ご期待ください！

一般社団法人
日本ショッピングセンター協会

連載コラム

SCと競馬と人生と「米国遠征・そして引退」

出資馬掲載につき、社台／サンデー／G1サラブレッドクラブ許可済

業務広報G・中山（22期）です。

昨年は愛馬ソングラインのG１制覇、そして最高の思い出となった『米国・ブリーダーズカップ』出走がありました。
私も共同出資者と共に渡米し、米国の競馬を初体験！
１番人気に押されたブリーダーズカップマイル（G１） ５着
そして引退となりましたが震えるほどの感動を忘れません！

ソングライン号

父キズナ×母ルミナスパレード（父父ディープインパクト）
2018年3月4日生　17戦7勝・獲得賞金799,991,100円
2023年JRA賞：最優秀4歳以上牝馬、最優秀マイラー

今月の一コマ@サンタアニタ競馬場（アメリカ）

念願の米国競馬へ自分の出資馬で行くことができました。Ｇ１を３勝・ＪＲＡの特別表彰とぬいぐるみやポスターにもなったスーパーホースの出会いに感謝しかありません！！！

憧れのサンタアニタ・世界最高のG１を16勝した世界的名馬ジョンヘンリー号の銅像前での撮影は、競馬人生の中で忘れる事の出来ない瞬間です。

【編集後記】

渋谷で初日の出を眺めていた元旦の朝から束の間、能登地方を中心に大地震があり、時間とともにその被害の大きさが明らかになっています。被害に遭われた方々にお見舞を申し上げますとともに、犠牲となった方々のご冥福をお祈りいたします。SC業界では多くの施設で営業中の被災は免れたものの、復旧・復興に向け、地域社会のインフラを担う我々の仲間の活躍を、ぜひとも応援していきたいと思います。
翌日の羽田空港における事故も含め、こうした災害・事故はいつ、どこで、どの様な形で起きるかわからないということを、改めて痛感した新年となりました。僅かの時間で航空機の乗員・乗客が脱出できたのは、日ごろからの訓練と、乗客への緊急避難の告知を繰り返し行っていた結果ではないかと思います。
被害を最小にできるかどうかは、日頃からリスクに対する事前の想像と、そして起きた後の行動が左右するわけですが、自分に起きたらどう行動するか、そのために普段どのように心がけておくのかなど、色々な災害・事故・事件に対し、マニュアルをしまいこんでおくのではなく、日頃の訓練を自分事として捉え、追体験、疑似体験をすることが重要であると、この事故対応の報道を通じて、強く感じたところです。

このような危機対応への備えに加え、本年は金利・量的緩和の修正、円安の修正が見込まれ、資金調達のハードルが上がるだけでなく、物価上昇、工事費高騰、また労働時間の制約、人手不足の激化という「2024年問題」も、すでに影響を及ぼしているところです。一般的には、大きな投資をともなう案件の精査、優先順位づけが進む一方、目まぐるしく事業環境が変化する環境下でも、既存施設では、新たな付加価値の提供や市況回復を捉えた収益力の維持・向上、危機対応をはじめとした強靭化の両輪が期待されるところ、改めて、地域社会のインフラを担う我々SC業界のありようが問われる１年となりそうです。業界内外と接点をもち、みなさまと研鑽を重ねてまいりたいと思います。

担当：今井（16期）

◆所属先・部署・役職に変更がありましたらお知らせください。
◆「SC経営士ニュース」に対するご意見・ご感想は、こちらにお願いします。
SC経営士会　業務広報グループ　田部井（17期）　ktabei@gms.tokyo-dome.co.jp
SC協会　SC経営士会事務局　sckeieishikai@jcsc.or.jp